

平成 29 年 4 月 13 日(金)

オーストラリア 4 週間プログラムを終えて

5534 札幌校 養護教育専攻 3 年 前谷菜津希

2 月 9 日から 3 月 13 日までオーストラリア、ニューサウスウェルズ州シドニーにあるシドニー工科大学(University of Technology, Sydney) の附属語学センターINSEARCH のプログラムに参加しました。インサーチの研修は基本的には 5 週間で 1 つのプログラムが組み立てられており、私はその内の 4 週間に参加させていただきました。1 週目にはオリエンテーションとして、テストを受け英語力に合わせ 6 つほどのレベルに分けられて、レベルによって午前と午後のクラスに割り振られました。同じレベルの中でクラスが 5 つほどに分かれており、私は日本人 1 名、サウジアラビア人 1 名、中国人 16 名のクラスで、自己紹介から授業が始まりました。授業の内容はテクノロジーがテーマになっており、毎週金曜日には小テストと単語の聞き取りテストがありました。月曜日には土日の様子を隣の人と交流し、クラス全体で発表しあい、交流を行いました。授業の内容については文法の確認や、グループ活動でコミュニケーションをとることが多かったと思います。ライティングアセスメントとして、化粧品 3 社のウェブサイトと比較し、どの点に注目して環境に配慮しているかを述べるレポートがありました。スピーキングアセスメントとしては、いくつかある課題のうち、2, 3 人のグループで 1 つ選び、それについてパワーポイントでまとめ、1 人 5 分で発表するという課題でした。私は最終週の 5 週目はいないので、4 週目に今までシドニーで過ごし、体験したことをパワーポイントでまとめ、発表しました。クラスの雰囲気は、中国人が多かったため中国語で会話する場面も多かったのですが、電子辞書を使いながら知っている単語を駆使して、コミュニケーションをとり、仲を深めることができました。土日や放課後にクラスで仲良くなった子と、出かけることができたので、授業内だけではなく、日常の中でも英語を通して、国際的な交流が行えました。



中国人クラスメート



担任の先生

ホームステイの家庭は子どもが多い家庭で、日常的な会話を聞くことから英語を聞き取る力を身に付けることができました。毎日夜ご飯は子どもたちと一緒に食べました。会話の内容はわからないものも多かったのですが、質問すると分かりやすくゆっくりと話してくれました。大人だけでなく、子どもとも会話することで様々な英語や表現を聞き、学ぶことができましたと思います。家が少しシティ中心から遠く、バスや電車、フェリーを乗り換えて移動しました。いろいろな乗り物に乗ることで、日本との習慣の違いを見ることができたのでとても貴重な経験でした。土日はホストファミリーと一緒に活動することはなかったので、クラスメートや日本人学生とシドニーの観光に行きました。1週目はとても暑かったのですが、その後は雨も多く、涼しく過ごしやすかったです。土日の観光では、オペラハウスの英語ツアーを見学したり、ハーバーブリッジのブリッジクライムに挑戦したりしました。英語のツアーはわからない部分も多かったのですが、英語を聞きながらのツアーは今までに経験したことがないことで、とても新鮮でした。また、クラスメートとは英語でしか会話が通じなかったので、コミュニケーションに時間がかかることもありました。しかし、同じ英語レベルだからこそ、お互いに伝えたいことをいろんな単語に言い換えたり、聞き取ろうと取り組んだり、努力して会話することができました。土日にはシティ全体を観光することもできたので、バスの運転手やモールの店員と会話することができ、どのような場面でも英語で会話をする度胸と勇気を身につけることができたと思います。



ホストファミリー



フェリーから見るハーバーブリッジ

また、INSEARCHのアクティビティクラブにも参加しました。INSEARCHには学生サポーターがいて、その方たちと放課後にアクティビティをしたり、シティ内を観光したりしました。学生サポーターは多国籍で、いろんな国、年齢の方がいましたが、どの方もとても親切丁寧で、わからないことを聞くとゆっくり話して教えてくれました。放課後の観光の際には、つたない英語でも聞き取ってくれて、日本についても話すことができました。アクティビティには同じ大学の日本人だけではなく、佐賀大学や横浜大学からきてい

る学生や、中国人ともかかわることができたので、参加してよかったと思います。アクティビティには英語で映画を見る日や、ボードゲームをする日、フェリーでシティ観光をする日などがありました。映画は英語が少ししかわからなくても楽しめるような内容のもので勉強になりました。ボードゲームはウノやオセロ、麻雀をやりました。国や言語が異なってもルールが変わらないものなので、会話を楽しみながらゲームに参加することができました。



空港まで見送りに来てくれた学生サポーター



放課後のシティ観光

次回の参加者に伝えたいことは、自分の苦手分野を重点的に勉強してから研修に望んでほしいということです。私はリスニングは得意なほうでしたが、スピーキング力がありませんでした。1ヶ月の滞在で毎日必ず英語を聞くので、リスニングの力は向上したと思います。しかし、単語の意味がわからないことが多く、自分の伝えたいことの半分も表現することができませんでした。自分の苦手なスピーキングや単語力をもっと身につけておけばよりコミュニケーションに参加しやすく、会話を楽しめたのではないかと反省しています。なので、次回参加者には、自分の得意苦手に合わせ、日常で使える会話力を身につけておくといいのではないかと思います。また、オーストラリア英語にはなまりもあるので、最初はなれるのに苦労しました。まったく何を言っているのかわからないこともありましたが、何度でもひるまずに質問することが大切だと思います。今まで日常的に英語を使ったことがないので、会話できないのは当然だと思うので、わからないことは聞き、自分のことをしっかり話す気持ちが必要だと感じました。オーストラリアに行くまでは不安でいっぱいでしたが、行ってみると皆優しく、聞いたことには丁寧に答えてくれました。研修に行くか迷っている方にはぜひ勇気を出してほしいと思います。行ってみればどうにかなることも多く、また本当に行かなくては学べないことばかりです。今回1ヶ月という長くて短い研修に参加することができて良かったです。ありがとうございました。